

重要文化財 明治生命館 特別展示「明治生命館の保存と再生」を開催

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、11月2日（木）～11月30日（木）に、特別展示「明治生命館の保存と再生」を開催します※。

明治生命館は2005年9月のリニューアルオープン以来、多くの方々にご来館いただいておりますが、今回の特別展示では、施工・改修を実施した竹中工務店のご協力をいただくことにより、建設当時の映像、2001年から2005年まで続いた改修工事記録、また、建設当時の史資料等もご覧いただけます。

あわせて、東京都主催の文化財ウィークへの協賛依頼を受け、通常土・日曜日に一般公開している明治生命館1階・2階部分について、11月3日（祝）を特別公開日いたします。

今後も、丸の内の都市景観の形成と活性化に貢献するとともに、公開・展示等を通じてみなさまに重要文化財をより身近に親しんでいただきながら、明治生命館の維持・保存に努めてまいります。

※11月23日はビル定期点検日のため休館

<特別展示「明治生命館の保存と再生」概要>

- 所在地：東京都千代田区丸の内2-1-1（東京メトロ千代田線二重橋前駅3番出口）
- 公開日：11月2日（木）～11月30日（木）（11月23日はビル定期点検日のため休館）
- 入館：無料
- 公開時間：10：00～18：00
- 展示場所：明治生命館 1階ラウンジ入口傍 ルーム1・2
- 展示概要：

古代ギリシャ・ローマを源流とする古典主義様式の意匠でまとめられた明治生命館は、当時オフィスビルの最高峰と称される建物として1934年（昭和9年）に竣工いたしました。

その建築には多くの人々の思いや努力が結集されており、70余年を経過する今日まで、その姿を保持し続ける力となってきました。

このたびの特別展示「明治生命館の保存と再生」は、その思いや努力のなかで行われた明治生命館の建築や、現在ご覧いただいている明治生命館がどのように建設当時の姿を保ち続けてきたかを皆さまに知っていただくためのものです。

明治生命館は2005年9月のリニューアルオープン以来、多くの方々にご見学にお越しいただいておりますが、特別展示では、建設当時の映像、2001年から2005年まで続いた改修工事記録、また、建設当時の史資料等もご覧いただけます。

*本特別展示は、2006年4月に株式会社竹中工務店東京本店で開催された「明治生命館1934-2006」展（GALLERY A<ギャラリーエークワット>主催）の展示資料を同社よりご提供いただき、明治安田生命保険相互会社の主催で開催させていただくものです。

- お問い合わせ：明治安田ビルマネジメント丸の内センター 03（3283）9252

<明治生命館公開概要>

- 公開日時：
 - ・一般公開日：土・日曜（年末年始およびビル定期点検日は除く）、11：00～17：00
 - ・文化財ウィーク特別公開日：2006年11月3日（祝）、11：00～17：00
- 入館：無料
- 公開場所：1階：丸の内お客さま相談センター、2階：会議室、執務室、資料・展示室等
（1階の丸の内お客さま相談センターに加え、2階の執務室や戦後連合軍最高司令官の諮問機関である対日理事会の会場としても使用された会議室など、文化的価値の高い主要室も見学いただけるようになっております）
- お問い合わせ：明治安田ビルマネジメント丸の内センター 03（3283）9252

<ご参考>

○ 「明治生命館」について

1934年（昭和9年）に完成した明治生命館は、わが国近代洋風建築史上の代表作の一つに数えられ、1997年（平成9年）には、昭和期につくられた建造物としては初めて国の重要文化財に指定されました。

設計は、当時を代表する建築家8名による設計コンペを制した岡田信一郎（他の代表作品：歌舞伎座、日本銀行小樽支店等）。古典主義様式を採用したその威風は、明治以来の日本人建築家による西洋建築習熟の終着点に位置するものといわれ、また建造物全体の構想や設備の充実度から、昭和初期におけるオフィスビルディングの最高峰を示すものといわれています。

また、1945年（昭和20年）から1956年（昭和31年）までは米極東空軍司令部（EFAF）として接收されるなど、まさに昭和の激動を乗り越えてきた明治生命館には、そのすみずみまで時代の記憶が刻印されています。

○ 重要文化財の指定

1997年（平成9年）3月21日、文部大臣の諮問機関である文化財保護審議会で答申が行われ、同5月29日、「大正から昭和初期の洋風意匠を取り入れた建築物を代表するもので、建物の意匠が内外とも優れている」（文部省告示第98号）との指定基準に基づいて「重要文化財」に指定されました。

○ JCDデザインアワードの受賞について

社団法人 日本商環境設計家協会（JCD）が主催するJCDデザインアワードにおいて、明治生命館（受賞作品名：「明治生命館の保存と再生－重要文化財を使いつづけるために」）が審査員賞（佐藤卓賞）を受賞しました。

- ・ 受賞年度：2006年
- ・ 受賞名：JCDデザインアワード審査員賞（佐藤卓賞）
- ・ 受賞作品名：「明治生命館の保存と再生－重要文化財を使いつづけるために」
- ・ 企画：明治安田生命保険相互会社
- ・ 設計・監理：株式会社竹中工務店、株式会社三菱地所設計
- ・ 施工：株式会社竹中工務店

※ JCDデザインアワード

「JCDデザインアワード」は、商環境を中心とする空間デザインの顕彰を目的として、1974年に公募形式ではじめられました。毎年開催により、その時代の空間デザインの価値と可能性を抽出してきました。

デザインの質と発見をより開かれたものとするために、2003年から公募対象をアジア地域に広げています。

以上